

2. 調査結果の概要

(1) 調査客体の基本属性

ア 男女比率

(表1) 男女比率

(%)

| | 日 本 | アメリカ | ドイツ | スウェーデン |
|---|------|------|------|--------|
| 男 | 45.6 | 48.7 | 43.8 | 46.4 |
| 女 | 54.4 | 51.3 | 56.3 | 53.6 |

イ 年代別構成比

(表2) 年代別構成比

(%)

| | 日 本 | アメリカ | ドイツ | スウェーデン |
|---------|------|------|------|--------|
| 60～64 歳 | 18.2 | 21.5 | 22.8 | 18.2 |
| 65～69 歳 | 26.4 | 21.4 | 21.0 | 26.8 |
| 70～74 歳 | 20.2 | 17.1 | 22.9 | 26.1 |
| 75～79 歳 | 15.5 | 16.3 | 13.6 | 13.1 |
| 80～84 歳 | 12.0 | 13.5 | 10.8 | 10.4 |
| 85 歳以上 | 7.7 | 10.2 | 8.8 | 5.4 |

ウ 結婚の状況 (F3)

「現在の結婚の状況」についてみると、各国とも「現在、配偶者あるいはパートナーと同居」(日本 69.6%、アメリカ 46.6%、ドイツ 50.2%、スウェーデン 51.1%)の割合が最も高くなっている。

また、アメリカ、スウェーデン及びドイツでは「配偶者あるいはパートナーとは別居あるいは離婚」(アメリカ 18.9%、ドイツ 13.5%、スウェーデン 22.8%)の割合が、日本(5.5%)よりも高くなっている。(表3)

(表3) 結婚の状況

(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|--|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 結婚したことがない | 1.8 | 1.7 | 0.9 | 1.4 | 1.6 | 1.8 | 2.5 | 4.5 | 6.5 | 4.2 | 5.9 | 5.4 | 6.3 | 4.9 | 5.3 | 5.9 |
| 2 現在、配偶者あるいはパートナーと同居している (仕事上の別居を含む) | 64.2 | 68.9 | 77.4 | 69.8 | 72.3 | 69.8 | 71.7 | 69.6 | 46.2 | 49.0 | 49.4 | 46.1 | 44.5 | 47.6 | 46.7 | 46.6 |
| 3 配偶者あるいはパートナーとは、健康・介護上の理由で別居中である(病院・老人ホーム、子供・親族の世帯などで介護を受けている等) | | | | | 1.2 | 1.3 | 0.8 | 0.6 | | | | | 1.1 | 0.8 | 1.0 | 1.3 |
| 4 配偶者あるいはパートナーとは、別居あるいは離婚している | 2.0 | 2.2 | 1.7 | 3.3 | 3.1 | 2.1 | 4.3 | 5.5 | 9.7 | 9.0 | 8.1 | 13.6 | 14.6 | 13.5 | 17.6 | 18.9 |
| 5 配偶者あるいはパートナーは、死亡している | 31.4 | 27.0 | 19.7 | 25.3 | 21.3 | 24.8 | 20.5 | 19.6 | 37.4 | 37.7 | 36.3 | 34.6 | 33.1 | 33.2 | 29.3 | 27.3 |
| 無回答 | 0.6 | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.3 | 0.3 | 0.4 | - | 0.1 | - |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|--|-------|------|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 結婚したことがない | 5.2 | 4.1 | 5.4 | 5.9 | 4.0 | 5.0 | 6.5 | 4.1 | 7.0 |
| 2 現在、配偶者あるいはパートナーと同居している (仕事上の別居を含む) | 45.4 | 50.4 | 50.3 | 49.9 | 56.4 | 50.2 | 54.1 | 66.9 | 51.1 |
| 3 配偶者あるいはパートナーとは、健康・介護上の理由で別居中である(病院・老人ホーム、子供・親族の世帯などで介護を受けている等) | | | 0.6 | 0.7 | 0.4 | 1.6 | 1.1 | 0.6 | 1.2 |
| 4 配偶者あるいはパートナーとは、別居あるいは離婚している | 4.2 | 5.6 | 7.4 | 12.4 | 11.0 | 13.5 | 9.8 | 12.4 | 22.8 |
| 5 配偶者あるいはパートナーは、死亡している | 44.6 | 39.6 | 36.3 | 30.8 | 28.1 | 29.0 | 28.5 | 16.0 | 17.9 |
| 無回答 | 0.7 | 0.3 | - | 0.4 | 0.2 | 0.8 | - | - | - |

エ 家族との同居の状況（F 4）

「家族との同居の状況」についてみると、日本、アメリカ及びスウェーデンでは「夫婦二世帯」（日本 36.5%、アメリカ 38.3%、ドイツ 47.7%）の割合が最も高く、スウェーデンでは「単身世帯」（47.9%）の割合と「夫婦二世帯」（47.4%）が同程度である。

日本では「本人と子（配偶者がいる場合を含む。）の世帯」が 26.9%で、アメリカ（10.7%）、ドイツ（6.5%）、スウェーデン（2.5%）と比較して、子供と同居している高齢者の割合が高いことがわかる。

一方、アメリカ、ドイツ及びスウェーデンは、「単身世帯」（アメリカ 38.0%、ドイツ 40.6%、スウェーデン 47.9%）の割合が、日本（15.5%）を 20 ポイント以上上回っている。（表 4）

（表 4）家族との同居の状況

(%)

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|-------------------------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 単身世帯 | 15.5 | 38.0 |
| 2 夫婦二世帯 | 36.5 | 38.3 |
| 3 本人（配偶者がいる場合を含む。） と親の世帯 | 3.3 | 1.0 |
| 4 本人と子（配偶者がいる場合を含む。） の世帯 | 26.9 | 10.7 |
| 5 本人と子と孫（子、孫ともに配偶者が いる場合を含む。）の世帯 | 13.4 | 7.1 |
| 6 その他 | 4.4 | 5.0 |
| 無回答 | - | - |

| | ド イ ツ | ス ウ ェ ー デ ン |
|-------------------------------------|-------|-------------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 単身世帯 | 40.6 | 47.9 |
| 2 夫婦二世帯 | 47.7 | 47.4 |
| 3 本人（配偶者がいる場合を含む。） と親の世帯 | 0.2 | 0.1 |
| 4 本人と子（配偶者がいる場合を含む。） の世帯 | 6.5 | 2.5 |
| 5 本人と子と孫（子、孫ともに配偶者が いる場合を含む。）の世帯 | 0.1 | 0.4 |
| 6 その他 | 4.6 | 1.7 |
| 無回答 | 0.3 | - |

注) 第1回～第7回までは、同居している家族について聞いた。

第7回の質問文と選択肢は下記のとおり。なお、第8回からは単数回答。

あなたは、現在、どなたと一緒に暮らしていますか。養子の方も含めて下さい。（○はいくつでも）

- 1 あなたの配偶者あるいはパートナー
- 2 既婚（離死別を含む）の子供（男）
- 3 既婚（離死別を含む）の子供（女）
- 4 未婚の子供（男・女）
- 5 子供の配偶者あるいはパートナー
- 6 孫
- 7 兄弟・姉妹
- 8 その他の家族・親族
- 9 家族・親族以外の人
- 10 一緒に暮らしている人はいない

オ 子供の有無（F5）

「子供の有無」についてみると、各国とも「子供あり（別居のみ）」（日本 49.9%、アメリカ 70.9%、ドイツ 76.7%、スウェーデン 84.3%）の割合が最も高くなっている。アメリカとドイツでは7割以上、スウェーデンでは8割以上が、子供と別居して生活していることがわかる。

日本では「子供あり（同居・別居ともに）」（27.1%）もしくは「子供あり（同居のみ）」（14.8%）と回答した子供と同居している高齢者が4割を上回り、他の3か国より多くなっている。（表5）

（表5）子供の有無 (%)

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 子供あり（計） | 91.8 | 88.5 |
| 1 子供あり（同居のみ） | 14.8 | 6.2 |
| 2 子供あり（別居のみ） | 49.9 | 70.9 |
| 3 子供あり（同居・別居ともに） | 27.1 | 11.5 |
| 4 子供はいない | 8.2 | 11.4 |
| 無回答 | - | 0.1 |

| | ド イ ツ | ス ウ ェ ー デ ン |
|------------------|-------|-------------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 子供あり（計） | 86.2 | 87.3 |
| 1 子供あり（同居のみ） | 3.4 | 1.5 |
| 2 子供あり（別居のみ） | 76.7 | 84.3 |
| 3 子供あり（同居・別居ともに） | 6.2 | 1.5 |
| 4 子供はいない | 13.4 | 12.7 |
| 無回答 | 0.4 | - |

注) 第5回～第7回までの質問文は、同居、別居している子供の人数についてそれぞれ聞いた。質問文は、「あなたは、現在、何人のお子さんがいらっしゃいますか。同居、別居それぞれについてお答え下さい。養子の方も含めて下さい。ただし、すでに亡くなった方は含めないで下さい。」

カ 最終学歴（F6）

「最後に卒業（中退）した学校」についてみると、日本では「後期中等教育（高等学校）」（39.7%）、アメリカとスウェーデンでは「高等教育（短期大学・高専・専門学校（専修学校専門課程）・大学以上）」（アメリカ 57.2%、スウェーデン 49.2%）、ドイツでは「初等・前期中等教育（小学校・中学校）」（62.0%）の割合が、それぞれ最も高くなっている。（表6）

（表6）最終学歴

(%)

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|-------------------------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 初等・前期中等教育（小学校・中学校） | 25.4 | 8.9 |
| 2 後期中等教育（高等学校） | 39.7 | 31.3 |
| 3 高等教育（短期大学・高専・専門学校（専修学校専門課程）・大学以上） | 33.9 | 57.2 |
| 4 その他（進学予備校・その他の学校） | 0.5 | 2.4 |
| 5 わからない | 0.4 | 0.2 |
| 無回答 | - | - |

| | ド イ ツ | ス ウ ェ ー デ ン |
|-------------------------------------|-------|-------------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 初等・前期中等教育（小学校・中学校） | 62.0 | 17.1 |
| 2 後期中等教育（高等学校） | 20.2 | 26.8 |
| 3 高等教育（短期大学・高専・専門学校（専修学校専門課程）・大学以上） | 16.4 | 49.2 |
| 4 その他（進学予備校・その他の学校） | 1.4 | 6.9 |
| 5 わからない | - | - |
| 無回答 | - | - |

注) 第2回～第7回までは、学校教育年数について聞いた。

質問文は、「あなたは、小学校・中学校・高等学校・大学・大学院（これらに相当する旧制の学校を含む）などのいわゆる学校教育を全部で何年受けましたか。専門学校や保育園、幼稚園を除いてお答え下さい。」

キ 住宅の種類（F7）

「現在、住んでいる住宅形態」についてみると、各国とも「持家（一戸建て）」の割合が最も高い。特に日本とアメリカでは「持家（一戸建て）」（日本 79.5%、アメリカ 68.6%）の割合が、ドイツ（41.8%）、スウェーデン（35.7%）に比べて高く、一方、ドイツとスウェーデンでは「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」（ドイツ 36.4%、スウェーデン 29.1%）の割合が、日本（10.3%）とアメリカ（14.5%）に比べて高い。（表7）

（表7）住宅の種類 (%)

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|--------------------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 持家（一戸建て） | 79.5 | 68.6 |
| 2 持家（分譲マンション等の集合住宅） | 6.2 | 5.0 |
| 3 賃貸住宅（一戸建て） | 3.3 | 5.9 |
| 4 賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅） | 10.3 | 14.5 |
| 5 高齢者向け住宅・施設 | 0.3 | 3.0 |
| 6 その他 | 0.5 | 3.1 |
| 無回答 | - | - |

| | ド イ ツ | ス ウ ェ ー デ ン |
|--------------------------------|-------|-------------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 持家（一戸建て） | 41.8 | 35.7 |
| 2 持家（分譲マンション等の集合住宅） | 15.6 | 32.0 |
| 3 賃貸住宅（一戸建て） | 2.1 | 1.4 |
| 4 賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅） | 36.4 | 29.1 |
| 5 高齢者向け住宅・施設 | 2.1 | 0.7 |
| 6 その他 | 2.0 | 1.1 |
| 無回答 | 0.1 | - |

注) 第5回は、「住宅の所有形態」と「住宅の形態」それぞれについて聞いた。

第6回～第7回までの質問文は、「あなたがお住まいの住宅は、次のどれにあたりますか。」

選択肢は下記のとおり

- 1 あなた又はあなたの家族が所有する一戸建て住宅
- 2 個人や民間企業が所有する賃貸の一戸建て住宅
- 3 公共団体や民間非営利団体の賃貸の一戸建て住宅
- 4 その他の一戸建て住宅
- 5 あなた又はあなたの家族が所有する一般の集合住宅
- 6 個人や民間企業が所有する賃貸の集合住宅
- 7 公共団体や民間非営利団体の賃貸の集合住宅
- 8 高齢者専用の集合住宅であり、かつ所有
- 9 高齢者専用の集合住宅であり、かつ賃貸
- 10 その他の集合住宅

(2) 家庭生活の状況

ア 家族の生活に果たす高齢者の主な役割 (Q1)

「高齢者が家族や親族のなかで主としてどのような役割を果たしているか」についてみると、日本、ドイツ及びスウェーデンでは「家事を担っている」(日本 40.1%、ドイツ 43.3%、スウェーデン 74.1%) の割合が最も高い。アメリカでは「家事を担っている」(33.8%) と「家族や親族関係の中の長(まとめ役)である」(29.3%) が共に 3 割程度である。

国別にみると、「家事を担っている」の割合は、スウェーデンが 74.1% と最も高く、ドイツ(43.3%)、日本(40.1%)、アメリカ(33.8%) の順となっている。「家族や親族関係の中の長(まとめ役)である」の割合はアメリカ(29.3%) とドイツ(25.5%) で、また「家計の支え手(かせぎ手)である」の割合は日本(24.0%) で、他の国より高くなっている。(表 8)

(表 8) 家族の生活に果たす高齢者の主な役割

(ご家族と一緒に暮らしている方に)○付数字は順位(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 |
| 1 家事を担っている | 36.9 | 37.9 | 43.5 | 43.1 | 40.7 | 45.1 | ①50.2 | ①40.1 | 84.8 | 88.0 | 81.6 | 84.1 | 76.9 | 67.0 | ①71.8 | ①33.8 |
| 2 小さな子供の世話をしている | 16.1 | 13.6 | 15.0 | 12.5 | 7.8 | 4.9 | 7.8 | 0.9 | 9.2 | 12.5 | 19.8 | 19.6 | 14.8 | 16.7 | 22.2 | 4.0 |
| 3 家族・親族の相談相手になっている | 40.8 | 40.7 | 42.8 | 42.5 | 26.0 | 27.1 | ②32.9 | 3.3 | 72.9 | 80.9 | 69.7 | 74.5 | 49.5 | 52.4 | ②63.1 | 6.9 |
| 4 家計の支え手(かせぎ手)である | 26.5 | 26.6 | 28.8 | 29.8 | 26.6 | 23.8 | ③30.6 | ②24.0 | 26.4 | 26.6 | 21.6 | 26.0 | 59.9 | 24.3 | 33.5 | ③11.4 |
| 5 家族や親族関係の中の長(まとめ役)である | 33.5 | 33.1 | 30.7 | 30.3 | 19.3 | 25.1 | 25.5 | ③15.8 | 53.4 | 61.4 | 52.4 | 48.2 | 50.5 | 34.4 | ③39.6 | ②29.3 |
| 6 病気や障害を持つ家族・親族の世話や介護をしている | | | | | 6.4 | 6.5 | 7.8 | 2.0 | | | | | 19.9 | 13.0 | 17.8 | 2.9 |
| 7 その他 | 20.1 | 24.6 | 25.4 | 26.7 | 3.1 | 2.1 | 0.9 | 1.5 | 43.8 | 61.9 | 16.5 | 15.9 | 6.5 | 0.8 | 1.3 | 2.7 |
| 8 特に役割はない | 6.8 | 7.2 | 4.1 | 4.7 | 21.7 | 17.0 | 14.0 | 12.3 | - | 0.7 | 2.3 | 1.0 | 2.9 | 9.9 | 6.3 | 9.0 |
| 無回答 | 3.3 | 6.0 | 4.9 | 3.3 | - | - | - | - | 1.4 | 0.5 | 1.9 | 3.4 | 0.2 | - | 0.6 | - |

| | ド イ ツ | | | | | スウェーデン | | | |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 5 回 | 第 7 回 | 第 8 回 |
| 1 家事を担っている | 54.4 | 56.7 | 72.7 | 52.7 | ①55.4 | ①43.3 | 85.2 | ①65.2 | ①74.1 |
| 2 小さな子供の世話をしている | 12.5 | 14.0 | 8.0 | 7.1 | 9.3 | 2.7 | 4.9 | 3.3 | 0.6 |
| 3 家族・親族の相談相手になっている | 52.9 | 66.8 | 20.7 | 27.7 | ②28.5 | 2.5 | 17.1 | ③20.6 | 0.4 |
| 4 家計の支え手(かせぎ手)である | 38.1 | 49.8 | 39.7 | 19.0 | 24.2 | ③11.1 | 59.2 | ②26.2 | ③6.5 |
| 5 家族や親族関係の中の長(まとめ役)である | 35.6 | 36.8 | 39.2 | 28.0 | ③27.1 | ②25.5 | 14.7 | 10.9 | ②7.1 |
| 6 病気や障害を持つ家族・親族の世話や介護をしている | | | 13.7 | 15.4 | 18.6 | 5.0 | 8.7 | 8.5 | 1.3 |
| 7 その他 | 12.2 | 11.0 | 2.2 | 3.4 | 0.3 | 1.0 | 0.2 | 9.4 | 3.5 |
| 8 特に役割はない | 4.9 | 1.6 | 4.5 | 18.6 | 17.9 | 8.7 | 4.2 | 14.8 | 6.5 |
| 無回答 | 5.1 | 2.8 | 0.3 | - | 0.3 | 0.2 | - | - | - |

注 1) 第 5 回～第 7 回までの質問文は、「あなたは、ご家族や親族の方々の中でどのような役割を果たしていますか。次の中から、いくつでもあげてください。」(複数回答) ※第 8 回は単数回答である点に注意。

注 2) 第 4 回までは「ご家族と一緒に暮らしている方」のみを対象。

時系列比較のため、第 5 回以降は集計で「ご家族と一緒に暮らしている方」に限定して数値を算出。

第 8 回の選択肢番号が対応する第 4 回までの選択肢は次の通り。

- 1 家事の担い手として役立っている
- 2 小さな子供の世話をする者として役立っている
- 3 家族の相談相手として役立っている
- 4 家計を支える者(かせぎ手)として役立っている
- 5 家族の長として役立っている
- 6 (欠番)
- 7 その他のことで役立っている
- 8 役に立っていない

6 の項目は、第 4 回まではなかった。

イ 別居している子供との接触頻度（Q2）

「別居している子供を持つ高齢者が、別居している子供と会ったり、電話等で連絡をとったりしている頻度」についてみると、日本、ドイツ及びスウェーデンでは「週に1回以上」（日本30.9%、ドイツ37.7%、スウェーデン48.1%）の割合が最も高く、次いで日本では「月に1～2回」（26.8%）、ドイツ及びスウェーデンでは「ほとんど毎日」（ドイツ24.8%、スウェーデン30.0%）の割合が高くなっている。一方、アメリカでは「ほとんど毎日」が42.9%で最も高く、次いで「週に1回以上」が35.7%と4か国中最も頻度が高くなっている。（表9）

（表9）別居している子供との接触頻度

（別居している子供がいる方に）（%）

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|----------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 ほとんど毎日 | | 14.4 | 14.3 | 13.5 | 16.3 | 16.7 | 20.6 | 20.3 | | 15.3 | 21.2 | 19.4 | 36.3 | 41.1 | 46.3 | 42.9 |
| 2 週に1回以上 | | 19.1 | 17.2 | 16.7 | 30.9 | 30.1 | 31.4 | 30.9 | | 35.7 | 40.8 | 36.0 | 45.4 | 39.4 | 35.1 | 35.7 |
| 3 月に1～2回 | | 33.2 | 30.0 | 27.2 | 33.7 | 34.9 | 29.9 | 26.8 | | 18.6 | 17.9 | 18.1 | 11.4 | 12.5 | 11.2 | 13.7 |
| 4 年に数回 | | 30.0 | 34.7 | 37.9 | 16.9 | 15.7 | 15.5 | 18.8 | | 20.6 | 13.0 | 19.6 | 4.1 | 5.0 | 4.6 | 5.6 |
| 5 ほとんどない | | 3.3 | 3.6 | 4.6 | 2.0 | 2.6 | 2.6 | 3.1 | | 9.6 | 6.7 | 6.2 | 2.4 | 1.7 | 2.8 | 2.1 |
| 6 別居している子供はいない | | | | | - | - | - | - | | | | | - | - | - | - |
| 無回答 | | - | 0.1 | 0.1 | 0.2 | - | - | 0.1 | | 0.2 | 0.4 | 0.6 | 0.5 | 0.2 | - | 0.1 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|----------------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 ほとんど毎日 | 31.2 | 27.6 | 35.5 | 24.3 | 23.7 | 24.8 | 38.7 | 31.1 | 30.0 |
| 2 週に1回以上 | 29.4 | 30.9 | 40.3 | 34.0 | 38.8 | 37.7 | 44.8 | 49.1 | 48.1 |
| 3 月に1～2回 | 20.2 | 23.9 | 11.3 | 18.1 | 19.4 | 18.4 | 11.6 | 13.8 | 14.5 |
| 4 年に数回 | 16.6 | 13.8 | 8.9 | 19.5 | 16.1 | 15.8 | 3.5 | 5.3 | 6.6 |
| 5 ほとんどない | 2.1 | 3.0 | 4.0 | 3.7 | 2.0 | 3.2 | 0.9 | 0.7 | 0.8 |
| 6 別居している子供はいない | | | | - | - | - | - | - | - |
| 無回答 | 0.5 | 0.7 | - | 0.3 | - | - | 0.5 | - | - |

注) 5の項目は、第2～4回は「ほとんど会わない」。

第4回までは「別居している子供が1人以上の方」のみを対象としており、6の選択肢はなかった。

時系列比較のため、第5回以降は集計で「別居している子供が1人以上の方（F5で別居している子供が1人以上）」に限定して数値を算出。

ウ 子供や孫とのつきあい方 (Q3)

「老後における子供や孫とのつきあい」についてみると、各国とも「子供や孫とは、ときどき会って食事や会話をするのがよい」(日本 50.5%、アメリカ 61.1%、ドイツ 69.0%、スウェーデン 72.7%) の割合が最も高くなっている。

前回と比較すると、スウェーデンを除くすべての国で「子供や孫とは、いつも一緒に生活できるのがよい」が減少している。特に日本では過去7回の調査と比較して最も低い割合である。(表10)

(表10) 子供や孫とのつきあい方

(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 子供や孫とは、いつも一緒に生活できるのがよい | 59.4 | 58.0 | 53.6 | 54.2 | 43.5 | 34.8 | 33.1 | 27.1 | 6.5 | 2.7 | 3.4 | 4.0 | 8.7 | 14.1 | 12.6 | 9.0 |
| 2 子供や孫とは、ときどき会って食事や会話をするのがよい | 30.1 | 33.7 | 37.8 | 38.0 | 41.8 | 42.9 | 46.8 | 50.5 | 65.5 | 65.0 | 72.7 | 72.6 | 66.2 | 65.8 | 66.5 | 61.1 |
| 3 子供や孫とは、たまに会話をする程度でよい | 7.1 | 5.8 | 6.0 | 5.6 | 6.6 | 14.7 | 11.2 | 13.7 | 25.0 | 30.5 | 21.1 | 20.3 | 20.8 | 15.4 | 16.6 | 25.1 |
| 4 子供や孫とは、全くつき合わずに生活するのがよい | 1.1 | 1.5 | 0.9 | 0.8 | 0.9 | 0.6 | 1.2 | 1.1 | 0.4 | 0.3 | 0.4 | 0.6 | 0.5 | - | 0.5 | 0.6 |
| 5 わからない | | | | | 7.0 | 6.9 | 7.6 | 7.7 | | | | | 3.6 | 4.5 | 3.8 | 4.2 |
| 無回答 | 2.3 | 1.0 | 1.7 | 1.4 | 0.2 | 0.1 | - | - | 2.6 | 1.5 | 2.5 | 2.4 | 0.3 | 0.2 | - | - |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|------------------------------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 子供や孫とは、いつも一緒に生活できるのがよい | 15.4 | 13.4 | 14.9 | 16.7 | 15.9 | 14.2 | 5.0 | 3.7 | 3.7 |
| 2 子供や孫とは、ときどき会って食事や会話をするのがよい | 55.3 | 64.8 | 60.5 | 58.2 | 65.4 | 69.0 | 64.6 | 79.7 | 72.7 |
| 3 子供や孫とは、たまに会話をする程度でよい | 26.4 | 19.9 | 14.1 | 19.7 | 16.3 | 15.3 | 24.7 | 13.2 | 22.9 |
| 4 子供や孫とは、全くつき合わずに生活するのがよい | 1.6 | 0.6 | 0.7 | 0.2 | - | 0.3 | 0.1 | 0.3 | 0.1 |
| 5 わからない | | | 9.8 | 5.0 | 2.3 | 1.2 | 5.6 | 3.1 | 0.6 |
| 無回答 | 1.3 | 1.3 | - | 0.2 | - | - | - | - | - |

(3) 健康・福祉

ア 現在の健康状況 (Q4)

「現在、健康かどうか」についてみると、「健康である」の割合は、スウェーデン (67.6%) が最も高く、次いでアメリカ (67.1%)、日本 (64.8%) となっている。

ドイツは、「あまり健康とはいえないが、病気ではない」が 57.2% と最も高い。

前回と比較すると、アメリカは「健康である」が増加しているのに対し、日本、ドイツ及びスウェーデンでは大きな変化はみられない。(表 11)

(表 11) 現在の健康状況

(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 |
| 1 健康である | 56.6 | 53.8 | 50.7 | 50.6 | 52.9 | 64.4 | 65.4 | 64.8 | 62.4 | 63.6 | 64.9 | 67.0 | 66.7 | 61.0 | 61.2 | 67.1 |
| 2 あまり健康とはいえないが、病気ではない | 28.7 | 34.4 | 39.4 | 37.1 | 39.2 | 29.9 | 28.7 | 29.4 | 24.1 | 23.9 | 22.8 | 23.3 | 24.2 | 32.7 | 31.4 | 27.4 |
| 3 病気がちで、寝込むことがある | 11.7 | 9.9 | 8.9 | 10.8 | 7.2 | 5.2 | 5.1 | 5.1 | 10.5 | 9.9 | 7.7 | 6.8 | 6.6 | 6.1 | 6.6 | 5.0 |
| 4 病気で、一日中寝込んでいる | 2.2 | 1.7 | 0.8 | 1.4 | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.6 | 0.9 | 0.6 | 1.2 | 1.2 | 0.9 | 0.2 | 0.8 | 0.5 |
| 無回答 | 0.7 | 0.3 | 0.2 | - | 0.2 | - | 0.4 | 0.1 | 2.1 | 2.0 | 3.5 | 1.6 | 1.7 | - | - | - |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 5 回 | 第 7 回 | 第 8 回 |
| 1 健康である | 34.0 | 35.6 | 34.2 | 32.9 | 33.5 | 34.1 | 60.4 | 68.5 | 67.6 |
| 2 あまり健康とはいえないが、病気ではない | 56.2 | 54.7 | 51.0 | 55.8 | 57.7 | 57.2 | 30.5 | 25.5 | 24.5 |
| 3 病気がちで、寝込むことがある | 8.3 | 8.0 | 12.9 | 10.6 | 8.1 | 8.1 | 8.8 | 5.7 | 7.2 |
| 4 病気で、一日中寝込んでいる | 1.1 | 0.7 | 1.9 | 0.6 | 0.7 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 0.7 |
| 無回答 | 0.4 | 1.0 | - | 0.1 | 0.1 | 0.3 | - | - | - |

イ 健康について心がけていること (Q5)

「日頃、健康について心がけていること」についてみると、各国とも「特に心がけていることはない」(日本4.6%、アメリカ2.1%、ドイツ1.8%、スウェーデン1.2%)の割合は低く、大部分の高齢者が健康について何らかを心がけていることがわかる。

具体的に心がけていることとしては、日本とドイツでは「休養や睡眠を十分とる」(日本59.6%、ドイツ74.1%)や「規則正しい生活を送る」(日本59.3%、ドイツ78.2%)が上位にあげられている。

アメリカでは「休養や睡眠を十分とる」(79.3%)の割合が8割近く、次いで「健康診査などを定期的に受ける」(71.6%)と「気持ちをなるべく明るく持つ」(67.9%)が7割前後である。一方、スウェーデンでは「散歩や運動をする」(81.1%)の割合が最も高く、次いで「栄養のバランスのとれた食事をする」(73.5%)となっている。(表12)

(表12) 健康について心がけていること

○付数字は順位(複数回答)(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | | |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|---------|-----|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | |
| 1 休養や睡眠を十分とる | | | | | 68.7 | 66.3 | ①62.9 | ①59.6 | | | | | | 87.1 | 89.4 | ①90.2 | ①79.3 |
| 2 規則正しい生活を送る | | | | | 58.7 | 60.5 | ②58.4 | ②59.3 | | | | | | 67.6 | 63.1 | 74.1 | 55.4 |
| 3 栄養のバランスのとれた食事をする | | | | | 56.0 | 59.1 | ③57.2 | ③57.1 | | | | | | 72.1 | 65.9 | 70.5 | 61.6 |
| 4 保健薬や強壮剤などを飲む | | | | | 12.7 | 9.1 | 10.7 | 8.0 | | | | | | 16.3 | 8.6 | 22.4 | 15.4 |
| 5 健康診査などを定期的に受ける | | | | | 46.7 | 45.0 | 47.3 | 47.4 | | | | | | 74.1 | 73.4 | ②79.7 | ②71.6 |
| 6 酒やタバコをひかえる | | | | | 16.7 | 18.9 | 16.8 | 18.1 | | | | | | 21.8 | 56.4 | 61.1 | 27.2 |
| 7 散歩や運動をする | | | | | 43.3 | 48.3 | 47.9 | 53.7 | | | | | | 56.7 | 52.5 | 60.8 | 64.7 |
| 8 地域の活動に参加する | | | | | 20.3 | 20.3 | 16.0 | 19.6 | | | | | | 37.3 | 31.2 | 40.6 | 33.3 |
| 9 気持ちをなるべく明るく持つ | | | | | 45.5 | 45.5 | 40.3 | 39.5 | | | | | | 65.7 | 59.6 | ③78.2 | ③67.9 |
| 10 趣味を持つ | | | | | 40.7 | 41.3 | 38.3 | 40.5 | | | | | | 47.4 | 45.5 | 59.1 | 52.4 |
| 11 なるべく外出する | | | | | 28.1 | 31.1 | 29.2 | 31.7 | | | | | | 53.5 | 56.4 | 65.2 | 55.4 |
| 12 その他 | | | | | 2.0 | 2.9 | 1.4 | 1.2 | | | | | | 4.1 | 2.6 | 6.1 | 4.7 |
| 13 特に心がけていることはない | | | | | 3.8 | 3.6 | 5.2 | 4.6 | | | | | | 1.2 | 1.3 | 1.8 | 2.1 |
| 無回答 | | | | | - | - | - | - | | | | | | 0.2 | - | 0.2 | 0.1 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|--------------------|-------|-----|------|------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 休養や睡眠を十分とる | | | 75.3 | 76.0 | ②73.9 | ②74.1 | 53.2 | 58.1 | 60.3 |
| 2 規則正しい生活を送る | | | 61.2 | 72.6 | ①74.8 | ①78.2 | 56.0 | ③62.6 | ③64.6 |
| 3 栄養のバランスのとれた食事をする | | | 61.7 | 64.2 | 65.0 | 64.7 | 60.1 | ②73.5 | ②73.5 |
| 4 保健薬や強壮剤などを飲む | | | 15.2 | 32.4 | 37.8 | 35.3 | 10.8 | 15.8 | 13.8 |
| 5 健康診査などを定期的に受ける | | | 55.6 | 64.3 | 63.7 | 70.7 | 30.4 | 39.2 | 40.4 |
| 6 酒やタバコをひかえる | | | 23.4 | 19.0 | 18.2 | 20.1 | 9.2 | 10.5 | 11.4 |
| 7 散歩や運動をする | | | 51.6 | 51.7 | 51.6 | 54.3 | 67.1 | ①77.9 | ①81.1 |
| 8 地域の活動に参加する | | | 23.8 | 31.3 | 34.7 | 39.1 | 25.8 | 29.4 | 33.4 |
| 9 気持ちをなるべく明るく持つ | | | 52.5 | 61.1 | ③66.8 | ③71.7 | 52.6 | 47.1 | 55.9 |
| 10 趣味を持つ | | | 37.0 | 43.2 | 44.1 | 47.2 | 43.4 | 53.5 | 54.4 |
| 11 なるべく外出する | | | 15.3 | 14.2 | 17.4 | 17.2 | 42.8 | 52.3 | 61.3 |
| 12 その他 | | | 3.1 | 4.1 | 1.7 | 1.8 | 0.2 | 5.5 | 11.1 |
| 13 特に心がけていることはない | | | 2.5 | 2.5 | 1.5 | 1.8 | 2.7 | 1.6 | 1.2 |
| 無回答 | | | - | - | 0.1 | 0.2 | - | - | - |

ウ 医療サービスの利用状況（Q6）

『医療サービス』を日頃どのくらい利用するか』についてみると、「利用していない」の割合は、日本（19.1%）とドイツ（18.7%）で2割程度、アメリカ（11.7%）とスウェーデン（8.6%）では1割前後となっている。

日本は「ほぼ毎日」から「月に1回くらい」の利用者が約6割と、「年に数回」が最も多い欧米3か国と比較して、医療サービスの利用頻度が高くなっている。（表13）

（表13）医療サービスの利用状況

（%）

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | | |
|-------------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|---------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | |
| 1 ほぼ毎日 | | | | | 1.6 | 1.2 | 0.8 | 0.7 | | | | | | 0.2 | 0.2 | 0.6 | 0.5 |
| 2 週に4、5回くらい | | | | | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | | | | | | 0.1 | 0.2 | 0.5 | 0.6 |
| 3 週に2、3回くらい | | | | | 5.4 | 4.0 | 4.2 | 2.4 | | | | | | 0.6 | 1.3 | 1.9 | 1.1 |
| 4 週に1回くらい | | | | | 5.9 | 5.0 | 3.4 | 3.4 | | | | | | 2.0 | 1.6 | 1.7 | 3.2 |
| 5 月に2、3回くらい | | | | | 24.3 | 17.7 | 13.1 | 11.6 | | | | | | 6.8 | 8.0 | 6.9 | 7.0 |
| 6 月に1回くらい | | | | | 22.2 | 28.1 | 39.3 | 39.7 | | | | | | 13.4 | 15.4 | 13.0 | 14.2 |
| 7 年に数回 | | | | | 18.9 | 17.7 | 17.8 | 22.5 | | | | | | 71.5 | 62.4 | 65.4 | 61.6 |
| 8 利用していない | | | | | 20.9 | 25.4 | 20.5 | 19.1 | | | | | | 4.8 | 10.5 | 10.0 | 11.7 |
| 無回答 | | | | | 0.1 | - | 0.1 | - | | | | | | 0.7 | 0.4 | - | 0.2 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|-------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 ほぼ毎日 | | | 0.9 | 0.5 | 1.1 | 0.8 | 0.2 | 0.3 | 0.1 |
| 2 週に4、5回くらい | | | 0.3 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | - | 0.1 |
| 3 週に2、3回くらい | | | 1.6 | 2.0 | 1.3 | 1.6 | 0.8 | 0.5 | 0.8 |
| 4 週に1回くらい | | | 3.7 | 2.9 | 2.7 | 3.6 | 1.6 | 1.7 | 0.9 |
| 5 月に2、3回くらい | | | 8.0 | 9.8 | 10.5 | 9.2 | 2.8 | 3.6 | 4.4 |
| 6 月に1回くらい | | | 15.4 | 17.4 | 16.9 | 15.2 | 7.7 | 8.5 | 8.6 |
| 7 年に数回 | | | 36.7 | 40.9 | 45.1 | 50.1 | 59.3 | 71.3 | 76.5 |
| 8 利用していない | | | 33.4 | 26.1 | 20.1 | 18.7 | 27.5 | 14.0 | 8.6 |
| 無回答 | | | - | 0.2 | 1.9 | 0.8 | - | - | - |

エ 医療サービスに対する不満点・問題点（Q7）

『医療サービス』を利用している高齢者が『医療サービス』に感じる不満点についてみると、各国とも「特に不満はない」の割合が最も高い。

不満内容についてみると、日本では「診察の時に待たされる」（19.2%）の割合が最も高く、次いで「費用が高い」（13.8%）となっている。

アメリカでは「費用が高い」（28.8%）の割合が最も高く、次いで「診察の時に待たされる」（16.4%）、「手術などの日を待たされる」（11.5%）、「医師、看護婦などの説明が足りない」（11.4%）の順となっている。

ドイツとスウェーデンでは、「診察の時に待たされる」（ドイツ 13.8%、スウェーデン 16.8%）が最も高く、次いで「手術などの日を待たされる」（ドイツ 10.2%、スウェーデン 10.0%）と続くが、いずれも1割程度と不満は小さい。

（表 14）

（表 14）医療サービスに対する不満点・問題点 （医療サービスを利用している方に）○付数字は順位（複数回答）（%）

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|--------------------------|-----|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|---------|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 費用が高い | | | | | 18.8 | 15.3 | ②15.4 | ②13.8 | | | | | 25.2 | 31.5 | ①32.6 | ①28.8 |
| 2 医師、看護婦などの説明が足りない | | | | | 7.9 | 6.5 | ③6.4 | 4.4 | | | | | 12.5 | 15.7 | ②15.6 | 11.4 |
| 3 施設が近くにない | | | | | 11.1 | 6.1 | 5.4 | ③6.0 | | | | | 3.7 | 3.9 | 3.9 | 3.4 |
| 4 施設や設備が古い | | | | | 2.3 | 1.1 | 0.5 | 1.1 | | | | | 0.7 | - | 1.8 | 1.8 |
| 5 手術などの日を待たされる | | | | | 0.9 | 0.5 | 0.6 | 1.0 | | | | | 6.2 | 9.5 | 7.4 | ③11.5 |
| 6 診察の時に待たされる | | | | | 30.6 | 20.4 | ①18.1 | ①19.2 | | | | | 13.1 | 17.2 | ③10.6 | ②16.4 |
| 7 プライバシーが守られていない | | | | | 0.7 | 0.5 | 0.7 | 1.2 | | | | | 1.8 | 1.5 | 2.1 | 1.6 |
| 8 医師、看護婦などの職員の対応や態度がよくない | | | | | 2.3 | 3.2 | 2.1 | 2.2 | | | | | 3.1 | 4.3 | 3.3 | 5.7 |
| 9 十分な治療が受けられない | | | | | 2.0 | 1.9 | 1.4 | 1.0 | | | | | 2.4 | 2.7 | 3.8 | 3.2 |
| 10 その他 | | | | | 1.5 | 3.0 | 1.3 | 2.0 | | | | | 3.4 | 1.6 | 1.7 | 2.3 |
| 11 特に不満はない | | | | | 48.2 | 61.0 | 62.7 | 65.7 | | | | | 56.4 | 51.6 | 54.2 | 57.1 |
| 無回答 | | | | | 0.3 | 0.2 | 1.1 | - | | | | | 1.2 | 2.0 | 2.2 | - |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|--------------------------|-------|-----|------|------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 費用が高い | | | 3.7 | 22.8 | ②16.5 | 8.5 | 24.4 | 2.2 | 3.2 |
| 2 医師、看護婦などの説明が足りない | | | 12.9 | 11.9 | ③15.7 | ③9.6 | 9.8 | 6.2 | ③7.4 |
| 3 施設が近くにない | | | 4.2 | 4.8 | 4.2 | 4.4 | 6.7 | 1.8 | 0.8 |
| 4 施設や設備が古い | | | 0.6 | 0.9 | 1.3 | 0.9 | 1.9 | 1.0 | 0.3 |
| 5 手術などの日を待たされる | | | 2.4 | 6.5 | 10.2 | ②10.2 | 13.8 | ②10.3 | ②10.0 |
| 6 診察の時に待たされる | | | 25.0 | 13.5 | ①17.4 | ①13.8 | 23.4 | ①12.4 | ①16.8 |
| 7 プライバシーが守られていない | | | 1.1 | 1.9 | 2.0 | 1.7 | 0.6 | 0.2 | 0.8 |
| 8 医師、看護婦などの職員の対応や態度がよくない | | | 2.6 | 3.7 | 5.4 | 2.7 | 2.9 | 3.2 | 4.2 |
| 9 十分な治療が受けられない | | | 4.4 | 4.2 | 7.9 | 2.7 | 4.1 | 4.0 | 7.3 |
| 10 その他 | | | 2.4 | 2.7 | 1.3 | 1.4 | 3.6 | ③7.1 | 5.5 |
| 11 特に不満はない | | | 60.8 | 57.3 | 59.0 | 69.0 | 45.5 | 68.9 | 68.1 |
| 無回答 | | | 0.6 | - | 0.6 | 0.5 | - | - | - |

オ 通所・在宅の福祉サービスの利用状況（Q8）

「どのような『通所・在宅のサービス』を主に利用しているか」についてみると、各国とも「利用していない」の割合が9割を超え、サービス利用率は低い。（表15）

（表15）通所・在宅の福祉サービスの利用状況

(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|--------------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|---------|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 デイサービス | | | | | 1.9 | 2.6 | 2.9 | 3.0 | | | | | 0.7 | 1.0 | 1.8 | 1.1 |
| 2 ホームヘルプサービス | | | | | 1.2 | 1.7 | 0.8 | 1.5 | | | | | 3.5 | 4.5 | 6.1 | 4.2 |
| 3 ショートステイ | | | | | | | | 0.1 | | | | | | 1.1 | 0.5 | 0.4 |
| 4 その他 | | | | | 0.6 | 0.8 | 0.3 | 0.7 | | | | | 1.8 | 0.3 | 1.1 | 1.6 |
| 5 利用していない | | | | | 96.3 | 94.9 | 95.9 | 94.7 | | | | | 92.5 | 92.9 | 90.5 | 92.3 |
| 無回答 | | | | | - | - | - | - | | | | | 1.5 | 0.2 | - | 0.4 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|--------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 デイサービス | | | 1.2 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.4 | 0.3 | 1.2 |
| 2 ホームヘルプサービス | | | 4.3 | 4.3 | 6.0 | 5.5 | 8.1 | 3.6 | 5.1 |
| 3 ショートステイ | | | | 0.4 | 0.7 | 0.6 | | 0.4 | 0.2 |
| 4 その他 | | | 1.5 | 0.8 | 0.5 | 1.5 | 0.8 | 3.3 | 1.8 |
| 5 利用していない | | | 92.9 | 92.7 | 90.8 | 90.5 | 89.7 | 92.4 | 91.7 |
| 無回答 | | | - | 0.1 | 0.2 | 0.3 | - | - | - |

注) 3の項目は、第5回ではなかった。

カ 通所・在宅の福祉サービスの利用頻度（Q9）

『通所・在宅のサービス』を利用している高齢者が『通所・在宅のサービス』を利用する頻度についてみると、日本では「週に2、3回くらい」（40.7%）及び「週に1回くらい」（35.6%）の割合が高くなっている。一方、欧米3か国では「ほぼ毎日」（アメリカ21.9%、ドイツ36.6%、スウェーデン33.7%）の割合が最も高くなっている。（表16）

（表16）通所・在宅の福祉サービスの利用頻度

（通所・在宅の福祉サービスを利用している方に）（%）

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|-------------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|---------|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 ほぼ毎日 | | | | | 9.3 | 16.3 | 4.2 | 8.5 | | | | | 33.3 | 24.6 | 31.6 | 21.9 |
| 2 週に4、5回くらい | | | | | 14.0 | 18.6 | 14.6 | 6.8 | | | | | 6.7 | 13.0 | 11.6 | 8.2 |
| 3 週に2、3回くらい | | | | | 39.5 | 34.9 | 50.0 | 40.7 | | | | | 16.7 | 20.3 | 25.3 | 19.2 |
| 4 週に1回くらい | | | | | 23.3 | 18.6 | 22.9 | 35.6 | | | | | 20.0 | 11.6 | 15.8 | 15.1 |
| 5 月に2、3回くらい | | | | | 7.0 | 7.0 | 4.2 | 1.7 | | | | | 13.3 | 8.7 | 4.2 | 13.7 |
| 6 月に1回くらい | | | | | 4.7 | 2.3 | 2.1 | 6.8 | | | | | 3.3 | 8.7 | 3.2 | 6.8 |
| 7 年に数回 | | | | | 2.3 | 2.3 | 2.1 | - | | | | | - | 10.1 | 8.4 | 11.0 |
| 無回答 | | | | | - | - | - | - | | | | | 6.7 | 2.9 | - | 4.1 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|-------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 ほぼ毎日 | | | 41.9 | 41.9 | 37.8 | 36.6 | 37.9 | 28.8 | 33.7 |
| 2 週に4、5回くらい | | | 5.4 | 5.4 | 11.1 | 5.4 | 4.9 | 1.3 | 1.2 |
| 3 週に2、3回くらい | | | 8.1 | 14.9 | 15.6 | 21.5 | 13.6 | 11.3 | 10.8 |
| 4 週に1回くらい | | | 17.6 | 20.3 | 21.1 | 23.7 | 25.2 | 12.5 | 9.6 |
| 5 月に2、3回くらい | | | 6.8 | 4.1 | 7.8 | 3.2 | 8.7 | 13.8 | 15.7 |
| 6 月に1回くらい | | | 8.1 | 4.1 | - | 3.2 | 4.9 | 7.5 | 16.9 |
| 7 年に数回 | | | 12.2 | 6.8 | 5.6 | 6.5 | 4.9 | 25.0 | 12.0 |
| 無回答 | | | - | 2.7 | 1.1 | - | - | - | - |

キ 医療や福祉サービスに不満がある場合の対応（Q10）

「利用している医療や福祉サービスに不満がある場合、どのような対応をするか」についてみると、日本では「わからない」（23.9%）の割合が最も高いが、具体的な不満については「家族・友人に相談する」（33.0%）の割合が最も高くなっている。アメリカ、ドイツ及びスウェーデンでは「医療や福祉サービス提供機関に直接苦情を申し立てる」（アメリカ55.4%、ドイツ55.7%、スウェーデン67.0%）が最も高く、日本（18.4%）を大きく上回っている。また、欧米3か国では「医療や福祉サービス提供機関をかえる」（アメリカ44.4%、ドイツ45.2%、スウェーデン45.3%）の割合も、日本（23.1%）に比べて高くなっている。（表17）

（表17）医療や福祉サービスに不満がある場合の対応

○付数字は順位（複数回答）（%）

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | | |
|---------------------------------------|-----|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|---------|-----|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | |
| 1 利用している医療や福祉サービスを提供している機関をかえる | | | | | 33.5 | 21.9 | ②26.8 | ②23.1 | | | | | | 47.4 | 51.1 | ②52.8 | ②44.4 |
| 2 利用している医療や福祉サービスを提供している機関に直接苦情を申し立てる | | | | | 22.0 | 19.5 | ③19.4 | ③18.4 | | | | | | 57.1 | 54.4 | ①61.8 | ①55.4 |
| 3 家族・友人に相談する | | | | | 36.4 | 33.1 | ①36.3 | ①33.0 | | | | | | 31.1 | 32.9 | ③38.1 | ③29.7 |
| 4 苦情処理するための公的機関（オンブズマン制度など）に申し立てる | | | | | 13.8 | 5.8 | 7.9 | 5.0 | | | | | | 16.5 | 14.0 | 21.3 | 18.6 |
| 5 苦情処理するための私的機関に申し立てる | | | | | 3.5 | 2.1 | 3.6 | 2.6 | | | | | | 8.3 | 8.8 | 14.2 | 8.9 |
| 6 弁護士を立てて訴訟を起こす | | | | | 1.1 | 0.7 | 0.8 | 0.9 | | | | | | 5.8 | 4.3 | 5.8 | 5.4 |
| 7 不満があっても我慢する | | | | | 7.5 | 10.3 | 11.9 | 13.5 | | | | | | 6.5 | 5.2 | 7.0 | 6.5 |
| 8 その他 | | | | | 0.7 | 1.2 | 0.7 | 3.6 | | | | | | 1.7 | 0.1 | 1.6 | 2.1 |
| 9 わからない | | | | | 23.1 | 27.7 | 20.4 | 23.9 | | | | | | 7.4 | 6.7 | 5.8 | 7.2 |
| 無回答 | | | | | 0.2 | 0.4 | - | - | | | | | | 1.9 | 0.4 | - | - |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|---------------------------------------|-------|-----|------|------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 利用している医療や福祉サービスを提供している機関をかえる | | | 39.5 | 36.0 | ②43.8 | ②45.2 | 23.6 | ②41.6 | ②45.3 |
| 2 利用している医療や福祉サービスを提供している機関に直接苦情を申し立てる | | | 38.0 | 43.2 | ①45.7 | ①55.7 | 53.9 | ①66.6 | ①67.0 |
| 3 家族・友人に相談する | | | 46.4 | 43.9 | ③43.5 | ③47.7 | 19.2 | 13.2 | ③20.2 |
| 4 苦情処理するための公的機関（オンブズマン制度など）に申し立てる | | | 10.5 | 13.0 | 15.2 | 15.7 | 10.9 | ③14.5 | 15.5 |
| 5 苦情処理するための私的機関に申し立てる | | | 6.4 | 8.6 | 10.3 | 6.0 | 1.9 | 4.0 | 3.0 |
| 6 弁護士を立てて訴訟を起こす | | | 5.9 | 5.8 | 6.7 | 5.8 | 3.1 | 6.2 | 3.7 |
| 7 不満があっても我慢する | | | 4.8 | 6.9 | 4.4 | 4.0 | 17.2 | 9.2 | 10.3 |
| 8 その他 | | | 0.8 | 1.3 | 0.4 | 1.3 | 0.3 | 1.3 | 3.7 |
| 9 わからない | | | 10.4 | 9.1 | 3.0 | 3.8 | 12.4 | 5.8 | 2.9 |
| 無回答 | | | 0.2 | 0.3 | - | - | - | - | - |

ク 高齢者の尊厳が傷つけられることの有無（Q11）

「高齢者であることを理由として、ほかの人々から不愉快な取り扱いや不利益を受けたような経験」についてみると、各国とも「まったくない」（日本 79.0%、アメリカ 70.0%、ドイツ 69.2%、スウェーデン 81.5%）の割合が最も高くなっている。

前回と比べると、ドイツでは「まったくない」の割合がやや増加している。（表 18）

（表 18） 高齢者の尊厳が傷つけられることの有無

(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 |
| 1 大いにある | / | / | / | / | 3.5 | 0.7 | 0.8 | 0.3 | / | / | / | / | 11.3 | 2.0 | 1.6 | 2.3 |
| 2 少しはある | / | / | / | / | 25.8 | 6.2 | 3.8 | 4.2 | / | / | / | / | 41.8 | 9.2 | 10.1 | 9.9 |
| 3 あまりない | / | / | / | / | 45.2 | 14.0 | 15.1 | 16.5 | / | / | / | / | 18.7 | 18.3 | 16.0 | 17.5 |
| 4 まったくない | / | / | / | / | 25.0 | 79.0 | 80.3 | 79.0 | / | / | / | / | 24.0 | 70.4 | 72.3 | 70.0 |
| 無回答 | / | / | / | / | 0.5 | 0.1 | - | 0.1 | / | / | / | / | 4.3 | 0.1 | - | 0.3 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 5 回 | 第 7 回 | 第 8 回 |
| 1 大いにある | / | / | 8.7 | 1.8 | 2.3 | 1.3 | 23.7 | 0.7 | 1.0 |
| 2 少しはある | / | / | 40.2 | 15.7 | 15.1 | 11.6 | 46.5 | 4.7 | 6.1 |
| 3 あまりない | / | / | 31.9 | 18.9 | 20.2 | 17.9 | 24.4 | 8.3 | 11.4 |
| 4 まったくない | / | / | 19.1 | 63.6 | 62.3 | 69.2 | 5.5 | 86.3 | 81.5 |
| 無回答 | / | / | - | - | 0.1 | - | - | - | - |

注) 第5回の質問文は、「あなたは、日頃、生活している中で、高齢者がほかの人々から自己の尊厳や自尊心を傷つけられていると思いますか。」

選択肢は下記のとおり。（第6回以降の選択肢は同じ）

- 1 大いにあると思う
- 2 少しはあると思う
- 3 あまりないと思う
- 4 まったくないと思う

(4) 経済生活

ア 生活の主な収入源 (Q12)

「主な収入源」についてみると、各国とも「公的な年金」(日本 70.8%、アメリカ 55.0%、ドイツ 77.2%、スウェーデン 72.6%) の割合が最も高い。日本とアメリカでは「仕事による収入」(日本 23.4%、アメリカ 22.5%) の割合が2割台で、ドイツ (10.3%)、スウェーデン (16.7%) に比べて、仕事による収入を主な収入源としている高齢者が多いことがわかる。(表 19)

(表 19) 生活の主な収入源

(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|---------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 仕事による収入 | 31.3 | 24.5 | 23.8 | 21.6 | 20.8 | 17.7 | 24.3 | 23.4 | 15.2 | 14.1 | 10.7 | 15.5 | 13.9 | 19.8 | 20.1 | 22.5 |
| 2 公的な年金(国民年金、厚生年金など) | 34.9 | 53.4 | 54.3 | 57.1 | 67.5 | 73.9 | 66.3 | 70.8 | 53.9 | 53.0 | 55.2 | 55.5 | 56.6 | 54.7 | 54.9 | 55.0 |
| 3 私的な年金(企業年金、個人年金など) | 3.8 | 1.9 | 1.9 | 1.7 | 1.6 | 1.0 | 1.2 | 1.1 | 10.0 | 10.4 | 13.6 | 13.3 | 16.4 | 10.1 | 12.1 | 12.5 |
| 4 預貯金などの引き出し | 2.1 | 2.2 | 2.0 | 2.4 | 1.6 | 1.0 | 1.4 | 0.7 | 1.7 | 1.8 | 1.8 | 1.5 | 0.9 | 2.8 | 2.6 | 2.8 |
| 5 財産からの収入(利子、配当金、家賃、地代など) | 5.3 | 5.6 | 4.0 | 2.5 | 2.3 | 1.9 | 2.0 | 1.1 | 14.5 | 17.4 | 11.0 | 8.5 | 7.0 | 9.8 | 5.1 | 3.5 |
| 6 子供などからの援助 | 15.6 | 9.0 | 5.7 | 4.2 | 3.4 | 2.5 | 1.9 | 0.8 | 0.3 | 0.2 | 0.7 | - | 0.1 | 0.5 | 0.7 | 0.7 |
| 7 生活保護 | 1.2 | 1.1 | 0.9 | 0.3 | 0.9 | 0.5 | 0.8 | 1.0 | 0.7 | 0.4 | 1.4 | 0.3 | 0.5 | 0.4 | 1.4 | 1.2 |
| 8 その他 | 3.1 | 1.9 | 1.8 | 2.4 | 1.7 | 1.5 | 1.9 | 1.1 | 3.5 | 2.4 | 2.7 | 1.6 | 3.1 | 1.0 | 0.8 | 1.6 |
| 無回答 | 2.7 | 0.4 | 5.7 | 7.9 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | - | 0.2 | 0.3 | 3.0 | 3.7 | 1.6 | 0.9 | 2.3 | 0.2 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|---------------------------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 仕事による収入 | 5.3 | 4.6 | 7.1 | 10.2 | 9.6 | 10.3 | 11.8 | 18.7 | 16.7 |
| 2 公的な年金(国民年金、厚生年金など) | 76.6 | 77.0 | 75.8 | 76.9 | 80.7 | 77.2 | 80.1 | 69.5 | 72.6 |
| 3 私的な年金(企業年金、個人年金など) | 10.9 | 10.1 | 9.1 | 4.0 | 3.6 | 3.3 | 1.9 | 4.3 | 4.4 |
| 4 預貯金などの引き出し | 0.6 | 1.6 | 1.3 | 0.8 | 0.7 | 2.3 | 0.6 | 2.9 | 0.5 |
| 5 財産からの収入(利子、配当金、家賃、地代など) | 1.4 | 2.0 | 1.9 | 2.2 | 1.8 | 2.2 | 0.2 | 0.6 | 0.5 |
| 6 子供などからの援助 | 0.6 | 0.2 | 0.2 | 0.4 | 0.4 | 0.5 | - | - | 0.1 |
| 7 生活保護 | 0.3 | 0.6 | 1.5 | 1.5 | 1.3 | 1.4 | 2.9 | 2.5 | 2.3 |
| 8 その他 | 2.6 | 1.7 | 3.1 | 0.7 | 0.7 | 2.3 | 2.2 | 1.5 | 2.9 |
| 無回答 | 1.8 | 2.2 | - | 3.3 | 1.3 | 0.6 | 0.3 | - | - |

イ 1か月当たりの平均収入額（税込）（Q13）

「1か月当たりの収入の平均額」についてみると、日本とドイツでは「10万円～20万円未満（年額では120万円～240万円未満）」（日本30.5%、ドイツ29.2%）及び「20万円～30万円未満（年額では240万円～360万円未満）」（日本30.2%、ドイツ24.9%）の割合が高い。アメリカとスウェーデンでは「40万円以上（年額では480万円以上）」（アメリカ28.2%、スウェーデン38.6%）の割合が最も高い。（表20）

（表20） 1か月当たりの平均収入額（税込） (%)

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|--------------------------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 5万円未満（年額では60万円未満） | 2.4 | 2.5 |
| 2 5万円～10万円未満 （年額では60万円～120万円未満） | 11.9 | 7.1 |
| 3 10万円～20万円未満 （年額では120万円～240万円未満） | 30.5 | 21.6 |
| 4 20万円～30万円未満 （年額では240万円～360万円未満） | 30.2 | 19.1 |
| 5 30万円～40万円未満 （年額では360万円～480万円未満） | 11.2 | 16.1 |
| 6 40万円以上（年額では480万円以上） | 9.3 | 28.2 |
| 7 収入はない | 1.0 | 0.7 |
| 無回答 | 3.5 | 4.7 |

| | ド イ ツ | ス ウ ェ ー デ ン |
|--------------------------------------|-------|-------------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 5万円未満（年額では60万円未満） | 0.8 | 0.1 |
| 2 5万円～10万円未満 （年額では60万円～120万円未満） | 4.9 | 1.0 |
| 3 10万円～20万円未満 （年額では120万円～240万円未満） | 29.2 | 16.4 |
| 4 20万円～30万円未満 （年額では240万円～360万円未満） | 24.9 | 26.4 |
| 5 30万円～40万円未満 （年額では360万円～480万円未満） | 15.5 | 17.1 |
| 6 40万円以上（年額では480万円以上） | 13.3 | 38.6 |
| 7 収入はない | 0.8 | 0.4 |
| 無回答 | 10.7 | - |

ウ 日々の暮らしに困ることがあるか (Q14)

「経済的に日々の暮らしに困ることがあるか」についてみると、各国とも「困っていない」の割合が最も高く、日本は「困っていない」の割合が51.6%となっている。

「困っている」と「少し困っている」を合わせた割合をみると、アメリカが3割を超えて最も高く(31.5%)、ドイツ(22.8%)、日本(22.5%)、スウェーデン(12.7%)の順となっている。

(表 21)

(表 21) 日々の暮らしに困ることがあるか

(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 困っている | 3.5 | 4.0 | 3.4 | 3.8 | 6.0 | 3.1 | 4.6 | 5.9 | 9.9 | 4.8 | 3.9 | 4.5 | 6.7 | 3.9 | 8.0 | 6.3 |
| 2 少し困っている | 10.2 | 11.8 | 15.6 | 15.9 | 17.6 | 11.4 | 12.6 | 16.7 | 18.4 | 13.0 | 16.3 | 24.8 | 24.8 | 23.7 | 29.1 | 25.2 |
| 3 あまり困っていない | 26.0 | 31.0 | 41.8 | 38.5 | 38.0 | 28.3 | 27.3 | 25.9 | 23.8 | 21.1 | 23.9 | 25.7 | 27.9 | 36.1 | 31.7 | 32.0 |
| 4 困っていない | 59.1 | 52.7 | 38.4 | 41.5 | 38.3 | 57.1 | 55.5 | 51.6 | 47.3 | 60.6 | 55.1 | 44.3 | 39.7 | 36.1 | 31.2 | 36.3 |
| 無回答 | 1.1 | 0.4 | 0.7 | 0.3 | 0.1 | 0.1 | - | - | 0.6 | 0.6 | 0.9 | 0.7 | 0.9 | 0.2 | - | 0.2 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 困っている | 1.5 | 1.8 | 3.2 | 6.2 | 5.6 | 4.1 | 4.9 | 2.5 | 2.6 |
| 2 少し困っている | 5.7 | 6.3 | 16.2 | 23.7 | 17.9 | 18.8 | 22.1 | 8.6 | 10.1 |
| 3 あまり困っていない | 24.8 | 28.2 | 46.6 | 36.8 | 37.3 | 31.0 | 44.6 | 30.5 | 29.1 |
| 4 困っていない | 67.9 | 63.0 | 34.1 | 33.3 | 38.4 | 46.0 | 28.5 | 58.4 | 58.2 |
| 無回答 | 0.2 | 0.7 | - | 0.1 | 0.8 | 0.2 | - | - | - |

エ 老後の生活費に対する備え (Q15)

「50歳代までに、老後の経済生活に備えて特に何かしていたか」についてみると、スウェーデンを除く3か国で「預貯金」（日本46.6%、アメリカ56.7%、ドイツ56.9%）の割合が最も高くなっている。スウェーデンでは「個人年金への加入」の割合が56.7%で最も高く、次いで「債券・株式の保有、投資信託」（40.5%）と続く。また、アメリカでも「個人年金への加入」（42.6%）及び「債券・株式の保有、投資信託」（33.2%）の割合が高くなっている。

一方、「特に何もしていない」の割合は日本で42.7%と、ドイツ（26.1%）、スウェーデン（25.4%）、アメリカ（20.9%）に比べて、日本は老後の生活費に対する備えを行っていない高齢者の割合が高いことがわかる。

時系列でみると、日本では「特に何もしていない」の割合が増加傾向にある。スウェーデンでは第7回調査に比べて、「債券・株式の保有、投資信託」の割合が約12ポイント増加している。（表22）

（表22）老後の生活費に対する備え

（複数回答）（%）

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|----------------------------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|---------|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 預貯金 | | | | | 57.9 | 55.5 | 51.5 | 46.6 | | | | | 66.4 | 64.7 | 59.2 | 56.7 |
| 2 個人年金への加入 | | | | | 27.6 | 19.0 | 18.2 | 19.6 | | | | | 46.4 | 39.8 | 44.4 | 42.6 |
| 3 債券・株式の保有、投資信託 | | | | | 6.2 | 6.8 | 7.8 | 7.1 | | | | | 35.5 | 39.6 | 36.9 | 33.2 |
| 4 不動産取得（賃貸収入を得るための不動産の取得等） | | | | | 7.9 | 5.2 | 5.5 | 5.0 | | | | | 20.0 | 19.9 | 20.8 | 15.9 |
| 5 貴金属の保有（金、宝石等） | | | | | 0.2 | 0.1 | 0.4 | 0.5 | | | | | 3.3 | 3.0 | 5.4 | 5.6 |
| 6 老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める | | | | | 14.7 | 6.9 | 5.0 | 6.4 | | | | | 12.3 | 8.8 | 16.7 | 13.8 |
| 7 その他 | | | | | 1.9 | 1.9 | 1.4 | 1.4 | | | | | 1.9 | 1.3 | 2.0 | 4.3 |
| 8 特に何もしていない | | | | | 26.4 | 34.9 | 39.0 | 42.7 | | | | | 16.7 | 19.5 | 20.5 | 20.9 |
| 無回答 | | | | | - | - | - | 0.1 | | | | | 0.8 | 0.2 | 1.3 | - |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|----------------------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 預貯金 | | | 49.4 | 58.8 | 62.1 | 56.9 | 28.5 | 27.0 | 29.7 |
| 2 個人年金への加入 | | | 7.3 | 14.7 | 15.2 | 15.7 | 18.1 | 47.9 | 56.7 |
| 3 債券・株式の保有、投資信託 | | | 10.0 | 12.8 | 16.8 | 13.5 | 14.8 | 28.4 | 40.5 |
| 4 不動産取得（賃貸収入を得るための不動産の取得等） | | | 10.1 | 19.5 | 22.4 | 21.4 | 5.2 | 6.1 | 6.8 |
| 5 貴金属の保有（金、宝石等） | | | 0.4 | 0.7 | 1.3 | 2.8 | 0.8 | 0.4 | 0.7 |
| 6 老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める | | | 5.2 | 6.5 | 10.1 | 8.0 | 1.5 | 1.6 | 3.2 |
| 7 その他 | | | 2.7 | 3.1 | 1.5 | 3.3 | 0.2 | 1.9 | 3.1 |
| 8 特に何もしていない | | | 38.1 | 26.5 | 23.7 | 26.1 | 53.1 | 36.9 | 25.4 |
| 無回答 | | | 0.3 | 0.2 | 0.9 | 0.9 | 0.1 | - | - |

オ 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度 (Q16)

「現在の貯蓄や資産は老後の備えとして十分か」についてみると、「社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない」の割合は、ドイツでは14.3%となっているが、他の3か国（日本1.3%、アメリカ2.7%、スウェーデン6.7%）では1割に届かず、日本が最も低くなっている。

「十分だと思う」の割合は、ドイツで32.7%と最も高く、次いで、アメリカ30.8%、スウェーデン29.0%、日本10.4%となっている。

一方、「やや足りないと思う」と「まったく足りないと思う」を合わせた割合をみると、日本が約6割(57.0%)で最も高く、いずれも2割前後である欧米3か国(アメリカ:24.8%、ドイツ:18.0%、スウェーデン:18.9%)と比較して、現在の貯蓄や資産が老後の備えとしては足りないと思っている高齢者の割合が高くなっている。(表23)

(表23) 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度 (%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | | |
|-------------------------------------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|---------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | |
| 1 社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない | | | | | 2.8 | 1.8 | 1.6 | 1.3 | | | | | | 7.4 | 3.7 | 4.6 | 2.7 |
| 2 十分だと思う | | | | | 7.2 | 12.6 | 13.0 | 10.4 | | | | | | 25.2 | 28.1 | 21.8 | 30.8 |
| 3 まあ十分だと思う | | | | | 30.7 | 32.2 | 28.5 | 27.0 | | | | | | 32.6 | 38.4 | 36.1 | 38.0 |
| 4 やや足りないと思う | | | | | 32.0 | 30.3 | 34.7 | 34.9 | | | | | | 14.7 | 16.6 | 18.5 | 13.1 |
| 5 まったく足りないと思う | | | | | 17.1 | 15.0 | 18.3 | 22.1 | | | | | | 15.0 | 9.0 | 16.0 | 11.8 |
| 6 わからない | | | | | 10.2 | 8.2 | 3.9 | 4.3 | | | | | | 4.0 | 4.0 | 3.0 | 3.7 |
| 無回答 | | | | | - | - | - | - | | | | | | 1.1 | 0.2 | - | - |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|-------------------------------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 1 社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない | | | 22.3 | 11.1 | 14.4 | 14.3 | 0.9 | 8.6 | 6.7 |
| 2 十分だと思う | | | 18.6 | 22.6 | 29.9 | 32.7 | 17.4 | 26.5 | 29.0 |
| 3 まあ十分だと思う | | | 29.4 | 34.3 | 30.7 | 33.6 | 48.9 | 45.8 | 43.7 |
| 4 やや足りないと思う | | | 15.0 | 17.5 | 16.2 | 12.6 | 16.5 | 10.4 | 14.3 |
| 5 まったく足りないと思う | | | 10.1 | 8.5 | 6.4 | 5.4 | 6.3 | 2.8 | 4.6 |
| 6 わからない | | | 4.5 | 5.6 | 2.4 | 1.4 | 10.1 | 5.8 | 1.7 |
| 無回答 | | | - | 0.4 | - | - | - | - | - |

(5) 就労

ア 一番長く経験した仕事の内容 (Q17)

「一番長くした仕事」についてみると、「常雇（フルタイム）の勤め人」（「常雇（フルタイム）の事務系・技術系勤め人」と「常雇（フルタイム）の労務系勤め人」の合計）は、ドイツが8割近く（77.2%）を占めて最も高く、アメリカ（61.5%）とスウェーデン（65.8%）でも6割を超えている。一方、日本では約5割（49.8%）である。

日本では「自営商工サービス業（家族従業者も含む）」が14.5%、「常雇（パートタイム）」は12.9%で、調査実施国中で最も高い割合となっている。（表24）

(表24) 一番長く経験した仕事の内容 (%)

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|----------------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 自営農林漁業（家族従業者も含む） | 8.3 | 4.3 |
| 2 自営商工サービス業 （家族従業者も含む） | 14.5 | 9.7 |
| 3 会社又は団体の役員 | 8.3 | 15.8 |
| 4 常雇（フルタイム）の事務系・ 技術系勤め人 | 33.6 | 36.4 |
| 5 常雇（フルタイム）の労務系勤め人 | 16.2 | 25.1 |
| 6 常雇（パートタイム） | 12.9 | 5.1 |
| 7 臨時・日雇・パート | 2.8 | 1.1 |
| 8 収入の伴う仕事をしたことはない | 3.3 | 2.6 |
| 無回答 | 0.1 | - |

| | ド イ ツ | ス ウ ェ ー デ ン |
|----------------------------|-------|-------------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 自営農林漁業（家族従業者も含む） | 1.8 | 2.2 |
| 2 自営商工サービス業 （家族従業者も含む） | 7.9 | 8.2 |
| 3 会社又は団体の役員 | 4.7 | 15.5 |
| 4 常雇（フルタイム）の事務系・ 技術系勤め人 | 53.8 | 49.6 |
| 5 常雇（フルタイム）の労務系勤め人 | 23.4 | 16.2 |
| 6 常雇（パートタイム） | 4.7 | 7.3 |
| 7 臨時・日雇・パート | 2.0 | 0.8 |
| 8 収入の伴う仕事をしたことはない | 1.6 | 0.2 |
| 無回答 | 0.2 | - |

注1) 第2回～第7回までは「これまで収入を伴う仕事をしたことがある」と回答した方に聞いた。

注2) 第4回までの選択肢には「常雇」のあとの「フルタイム」の文言はなかった。

6の項目は、第4回まではなかった。

参考 収入の伴う仕事の経験の有無 (Q17)

「これまでに収入の伴う仕事をしたことがあるか」についてみると、「収入の伴う仕事をしたことがある」の割合は、各国とも9割以上となっている。(表25)

(表25) 収入の伴う仕事の経験の有無

(%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|-------|-----|------|------|------|------|------|-------|-------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
| 就労経験者 | | 84.4 | 83.6 | 87.6 | 87.4 | 90.1 | 94.1 | 96.6 | | 95.5 | 93.7 | 94.0 | 92.2 | 94.1 | 95.8 | 97.4 |
| 男性 | | 96.5 | 95.8 | 96.4 | 98.2 | 97.9 | 100.0 | 100.0 | | 99.5 | 98.3 | 99.3 | 97.5 | 98.4 | 99.1 | 98.4 |
| 女性 | | 73.4 | 72.8 | 80.3 | 77.4 | 83.6 | 89.1 | 93.7 | | 92.6 | 90.6 | 90.2 | 88.1 | 90.9 | 93.3 | 96.5 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|-------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|-------|
| | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第5回 | 第7回 | 第8回 |
| 就労経験者 | 84.9 | 90.7 | 93.9 | 95.8 | 96.0 | 98.2 | 96.5 | 89.8 | 99.8 |
| 男性 | 98.4 | 98.9 | 99.1 | 98.8 | 98.8 | 99.8 | 98.4 | 90.2 | 100.0 |
| 女性 | 77.4 | 85.6 | 90.2 | 93.6 | 93.9 | 97.0 | 95.0 | 89.3 | 99.6 |

イ 実際の退職年齢（Q18）

「収入の伴う仕事を辞めたのは何歳のときか」について、辞めた年齢をみると、スウェーデンを除く3か国では「60歳代前半」（日本22.4%、アメリカ33.3%、ドイツ40.8%）の割合が最も高くなっている。スウェーデンでは「60歳代後半」（40.3%）が最も高く、次いで「60歳代前半」（32.6%）となっている。

一方、「まだ仕事を辞めていない」の割合は、日本（28.2%）が調査実施国中で最も高く、次いで、アメリカ（21.6%）、スウェーデン（16.4%）、ドイツ（12.6%）と続く。（表26）

（表26）実際の退職年齢 （これまで収入の伴う仕事をしたことがある方に）（%）

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 20歳代ないしはそれ以前 | 4.2 | 0.6 |
| 2 30歳代 | 2.0 | 1.1 |
| 3 40歳代 | 2.8 | 2.8 |
| 4 50歳代 | 14.5 | 14.3 |
| 5 60歳代前半（60～64歳） | 22.4 | 33.3 |
| 6 60歳代後半（65～69歳） | 16.8 | 18.9 |
| 7 70歳以降 | 8.9 | 6.3 |
| 8 まだ仕事を辞めていない | 28.2 | 21.6 |
| 無回答 | 0.2 | 1.0 |

| | ド イ ツ | ス ウ ェ ー デ ン |
|------------------|-------|-------------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 20歳代ないしはそれ以前 | 2.8 | 0.1 |
| 2 30歳代 | 2.4 | 0.2 |
| 3 40歳代 | 3.4 | 0.5 |
| 4 50歳代 | 20.6 | 8.2 |
| 5 60歳代前半（60～64歳） | 40.8 | 32.6 |
| 6 60歳代後半（65～69歳） | 15.2 | 40.3 |
| 7 70歳以降 | 1.3 | 1.7 |
| 8 まだ仕事を辞めていない | 12.6 | 16.4 |
| 無回答 | 0.8 | - |

注）第1回～第7回までは「現在収入を伴う仕事を行っていない」と回答した方に聞いた。

ウ 今後の就労意欲 (Q19)

「今後も収入の伴う仕事をしたい (続けたい) と思うか」についてみると、今後も仕事をしたい (続けたい) と思っている人の割合は日本 (44.9%)、アメリカ (39.4%)、スウェーデン (36.6%) で4割前後なのに対し、ドイツ (22.7%) は2割台となっている。

(表 27)

(表 27) 今後の就労意欲

(%)

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|---------------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 収入の伴う仕事をしたい (続けたい) | 44.9 | 39.4 |
| 2 収入の伴う仕事をしたくない (辞めたい) | 54.9 | 60.1 |
| 無回答 | 0.2 | 0.5 |

| | ド イ ツ | ス ウ ェ ー デ ン |
|---------------------------|-------|-------------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 収入の伴う仕事をしたい (続けたい) | 22.7 | 36.6 |
| 2 収入の伴う仕事をしたくない (辞めたい) | 76.6 | 63.4 |
| 無回答 | 0.7 | - |

注) 第1回～第7回「現在収入を伴う仕事を行っている」と回答した方に聞いた。

質問文は、「あなたは、今後も収入の伴う仕事を続けたいと思いますか。それとも辞めたいと思いますか。」

エ 就労の継続を希望する理由（Q20）

「今後も収入の伴う仕事をしたい（続けたい）」と回答した高齢者の今後も収入の伴う仕事をしたい（続けたい）理由」についてみると、日本とアメリカでは「収入がほしいから」（日本 49.0%、アメリカ 52.7%）の割合が高く、ドイツとスウェーデンでは「仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから」（ドイツ 48.9%、スウェーデン 54.4%）の割合が最も高くなっている。

また、日本では「働くのは体によいから、老化を防ぐから」（24.8%）が、他の欧米3か国（アメリカ 14.9%、ドイツ 14.8%、スウェーデン 16.9%）に比べて高い割合となっている。（表 28）

（表 28）就労の継続を希望する理由（収入の伴う仕事をしたい（続けたい）と答えた方に）（%）

| | 日 本 | ア メ リ カ |
|---------------------------|------|---------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 収入がほしいから | 49.0 | 52.7 |
| 2 仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから | 16.9 | 28.1 |
| 3 仕事を通じて友人や、仲間を得ることができるから | 7.1 | 2.8 |
| 4 働くのは体によいから、老化を防ぐから | 24.8 | 14.9 |
| 5 その他 | 2.2 | 1.5 |
| 無回答 | - | - |

| | ド イ ツ | スウェーデン |
|---------------------------|-------|--------|
| | 第8回 | 第8回 |
| 1 収入がほしいから | 31.9 | 20.8 |
| 2 仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから | 48.9 | 54.4 |
| 3 仕事を通じて友人や、仲間を得ることができるから | 0.9 | 3.0 |
| 4 働くのは体によいから、老化を防ぐから | 14.8 | 16.9 |
| 5 その他 | 3.1 | 4.9 |
| 無回答 | 0.4 | - |

注 1）第 5 回～第 7 回までは「現在有職で、仕事を続けたい」と回答した方に聞いた。

質問文は、「あなたが収入の伴う事を続けたいと思われるのは主にどのような理由からですか。」

第 8 回は、現在有職かどうかは問わず、「収入の伴う仕事をしたい（続けたい）」と回答した方に聞いた。

注 2）2 の項目は、第 4 回までは「仕事そのものが面白いから」。

4 の項目は、第 4 回までは「働くのは体によいから」。

オ 就労したくない理由 (Q21)

「今後収入の伴う仕事をしたくない (辞めたい) と回答した高齢者の収入の伴う仕事をしたくない理由」についてみると、日本、アメリカ及びドイツでは「ゆっくりとした生活がしたいから」(日本 42.0%、アメリカ 39.6%、ドイツ 38.0%) の割合が最も高い。次いで、日本とドイツでは「健康上の理由で働けないから」(日本 31.8%、ドイツ 24.0%) が、アメリカでは「仕事以外にしたい事があるから」(27.4%) がそれぞれ続いている。

一方、スウェーデンでは「仕事以外にしたい事があるから」(33.8%) と「ゆっくりとした生活がしたいから」(33.0%) の割合が高くなっている。(表 29)

(表 29) 就労したくない理由

(収入の伴う仕事をしたくない (辞めたい) と答えた方に) (%)

| | 日 本 | | | | | | | | ア メ リ カ | | | | | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 |
| 1 仕事以外にしたい事があるから | 37.3 | 37.5 | 20.3 | 12.9 | 16.4 | 15.7 | 16.1 | 5.4 | 57.3 | 60.0 | 58.3 | 63.4 | 60.5 | 62.0 | 49.8 | 27.4 |
| 2 健康上の理由で働けないから | 39.6 | 42.8 | 48.0 | 55.8 | 40.3 | 39.2 | 54.2 | 31.8 | 35.0 | 30.3 | 28.6 | 23.5 | 23.9 | 26.4 | 36.4 | 21.7 |
| 3 自分に適した仕事がないから | 11.2 | 10.5 | 19.2 | 16.5 | 18.3 | 17.6 | 19.3 | 4.3 | 1.2 | 1.6 | 0.5 | 1.6 | 1.3 | 2.0 | 3.6 | 1.8 |
| 4 ゆっくりとした生活がしたいから | | | | | | | | 42.0 | | | | | | | | 39.6 |
| 5 家族の介護のため働けないから | | | | | | | | 3.3 | | | | | | | | 2.7 |
| 6 その他 | 10.5 | 9.2 | 12.0 | 14.7 | 24.5 | 26.7 | 9.7 | 13.2 | 6.5 | 8.0 | 12.1 | 9.1 | 11.1 | 7.9 | 9.7 | 6.1 |
| 無回答 | 1.4 | - | 0.5 | 0.2 | 0.5 | 0.8 | 0.7 | - | - | - | 0.4 | 2.4 | 3.0 | 1.7 | 0.5 | 0.7 |

| | ド イ ツ | | | | | | スウェーデン | | |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 第 6 回 | 第 7 回 | 第 8 回 | 第 5 回 | 第 7 回 | 第 8 回 |
| 1 仕事以外にしたい事があるから | 31.6 | 39.1 | 35.4 | 25.9 | 36.5 | 22.4 | 53.2 | 56.8 | 33.8 |
| 2 健康上の理由で働けないから | 34.1 | 33.9 | 43.6 | 26.1 | 34.2 | 24.0 | 32.1 | 28.4 | 23.2 |
| 3 自分に適した仕事がないから | 4.5 | 5.0 | 3.1 | 3.4 | 4.6 | 1.7 | 2.6 | 6.2 | 1.7 |
| 4 ゆっくりとした生活がしたいから | | | | | | 38.0 | | | 33.0 |
| 5 家族の介護のため働けないから | | | | | | 3.2 | | | 2.8 |
| 6 その他 | 28.8 | 21.0 | 17.9 | 38.7 | 20.5 | 9.1 | 11.6 | 8.6 | 5.5 |
| 無回答 | 1.0 | 1.1 | - | 5.9 | 4.2 | 1.7 | 0.5 | - | - |

注 1) 第 1 回～第 7 回までは「現在有職で、仕事を辞めたい、または、今後収入を伴う仕事をしたくない」と回答した方に聞いた。

質問文は、「あなたが収入の伴う仕事を辞めたい、あるいは仕事をしたくないと思われるのは主にどのような理由からですか。1つだけあげてください。」

注 2) 1 の項目は、第 1、2 回は「のんびり暮らしたいから」。

2 の項目は、第 1～4 回は「健康が許さないから」。

4 と 5 の項目は、第 8 回から追加